

市民の仕事

ゴールデンウィークも終わり 国会では信じられないような額の補正予算が審議されています。もっと信じられないのが毎月 1 兆円もアメリカ国債を買わされ続けているということ。年額にすると21 兆円にもなります。定額給付金の 2兆どころの騒ぎではないのです。郵政民営化で郵貯・簡保の 300兆円もアメリカに吸い取られる道ができました。自公政権は変わって欲しいが、民主もどうもピリッとしにくい、困ったものです。困ったものですが、私たち国民が選挙で選んだ人たちなのですから、悪いのは私たち。選挙に行かなくて、こういう国にしまったのも私たち。「どうせ何も変わらない」政治家は誰も信用しないと、次の総選挙にも投票に行かなかったら、本当の大馬鹿です。投票率の低さが国民の「馬鹿度」と言います。今度の総選挙には気合を入れて、投票に行きたいものです。新座市でも市長選のツケが早くも出てきています。相変わらず、市民の税金が市民の福祉向上に還元される予算にはなっていないからです。でも、市長選に行かなかった人もこう言うのです。新座市は市民サービスがなっていない、新座市の学校のレベルは低い、新座市はどうして道路ばかり作るんだ、保育園を作りたい、東京と全然違う、気持ちは分からないでもないけれど、だったら選挙に行って欲しい。インターネットで、新座市議会会議録検索システムを1時間で見たいから見て欲しい。どの会派が市長提出議案に賛成し、どの議員がどういう理由で反対したのかをチェックして欲しい。そう思います。市政をチェックし議決するのが議会の仕事なら、議員の仕事をチェックし、誰を落とすか決めるのは市民の仕事です。投票率が低くて喜んだのは誰でしょう。どんな選挙でも「民意」より強いものはないことを示さなくてはなりません。

6月議会に向けて

保育園の待機児童数は11月末の194名から4月末現在で220名に大きく増加しています。自治体によっては公共施設を増改築して、「保育所」を開設しようとしているところがあります。6月議会では公共施設は勿論、空き店舗なども利用して「保育所」を開設するよう強く訴えていきます。一般質問の予定は次の通りです。

- 1 下水道の値上げ分の予算 (年 1億 5000万) を利用し、公共施設や空き店舗に保育室を
- 2 調布・保谷線の完成を待ち、交通量を確定させてから保谷・朝霞線の計画を
- 3 全国統一学力テストは独自で採点を
- 4 公用車を廃止して、公民館・コミセンの無料化を
- 5 大規模学童保育の解消を
- 6 下水道の整備をして黒目川のさらなる浄化を
- 7 英語教育の成果を示せる取り組みを。英会話講師やALTの待遇改善を
- 8 学校の校庭の芝生化を
- 9 市営のテニスコートをオムニにし、フットサルもできるように改修を。



写真は黒目川の上流の落合川。生活用水が殆ど流れ込まないので、黒目川より数段綺麗です。

③ にいざ市議会だより

みなさんのお家には年に4回、「にいざ市議会だより」が届きます。今回配られるのは5月25日号。字は小さいし、大きな数字は並んでいるし、見慣れない言葉が並んでいるかも知れません。しかし、公平な目で見ることにはできます。まず注目すべきところは一般質問です。そこにはみなさんが応援した議員の名前が出てきますから、選挙に行った人なら必ず読むはず。しかし、この文章は質問のごく一部。質問の全体を知りたいければ、インターネットを覗く必要があります。一番大事なのがやはり議案に対する各会派の賛否（×）です。5月25日号で言えば、後ろから2ページ目と最後のページ。そこには40の「市長提出議案」に対する各会派の賛否（×）が掲載されています。問題なのはその40の市長提出議案全てに賛成している会派が3会派あることです。語る会は40分の8の議案に反対しています。共産党は40分の11に反対しています。よく、「何でも反対かよ」などと言われていますが、語る会は5分の4、共産党は4分の3に賛成しているのです。困るのは100%賛成してしまう政和会（自民）、公明党、そして刷新の会（無所属、民主）の市長与党です。25人の内19人がこの3会派に所属していることが、今の新座市政を市民の感覚とずれた方向へ動かしているのです。編集後記にも注目して下さい。各会派の代表が実名を出して書いています。短い文章ですが、本音が透けて見えてきます。そういうことを知った上で「にいざ市議会だより」をご覧になると、新座市議会が少し見えてくると思います。そして色々な疑問や厳しい意見が出てくると思うのです。黙っていても知らないうちに損をします。どんどんぶつけて欲しい。議員を動かして欲しい。そう思います。市長提出議案に賛成するだけなら、誰でもできます。議場で居眠りをしているもできるのです。「ふざけるな！」も「もっと働け！」「40万円分働け！」と言うことです。働かないから議員報酬を下げる」では、益々働かなくなります。議会報告くらい出せ！」議場で自分の意見を言え！」そう言うことが、議員を鍛え、新座市を良くしていく。僕はそう思っています。

③ 敬一郎先生さようなら

今月19日の朝、中村敬一郎先生が亡くなりました。79歳でした。僕を面接し、五中の教員として採用してくれたのが敬一郎先生でした。そして第五中学校の最初の校長として、大学を出たばかりの僕を3年生の担任にしたのも敬一郎先生。僕はよく敬一郎先生に叱られました。たかむら、人から信頼されるようになれよ、教育長になっても影でいつも僕を応援してくれていたのが敬一郎先生でした。五中や六中のテニス部が関東や全国で活躍し、優勝したときは、本当に喜んでくれました。僕には神宮司久子というお母さんのような先生がいました。神さんも3年前に亡くなって…今度はお父さんのような敬一郎先生が亡くなってしまったのです。もう教師として敬一郎先生に誉めては貰えませんが、たかむら、よくやったな、そう言ってもらえるように、人として、そして議員として頑張ろうと思います。さようなら、敬一郎先生。ありがとうございました！これからずっと雲の上で見守っていてくださいね。

《お知らせ》

黒目川の川掃除を毎月一度しています。次回は6月7日（日）朝9時～11時、栗原一丁目公園集合です。魚類調査も予定しています。途中参加も大歓迎です！トング、軍手、ゴミ袋はこちらで用意します。楽しいですよ！

たかやんのプロフィール

本名たかむらともや。東京都新宿区生まれ。新宿区立西戸山中学、都立石神井高校を経て北海道大学へ。1977年から教師として五中・六中・二中で21年間を過ごし退職。2004年の選挙で初当選。どの政党にも、どの会派にも属せず一人会派「語る会」で、しがらみのない発言をし続けている。新堀・石神「たかやん塾」塾長。障がい者支援団体「よこ糸をつむぐ会」メンバー。黒目川川づくり懇談会「にいざ教育委員会」代表。石神3丁目在住。趣味はテニス・サッカー・囲碁・将棋・音楽・読書。

ご感想・ご意見・ご提案をお待ちしています。

たかやん



たかやんの連絡先

自宅 042-456-8869

携帯 090-6497-5737

mail: takayanchan@jcom.home.ne.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106